

浄水器専用水栓

施工・取扱説明書

施工、ご使用前にこの施工・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく施工、ご使用下さい。

お客様へ

この取扱説明書は必ず保管して下さい。

施工工事店様へ

施工後、この説明書をお客様へお渡し下さい。

施工方法

適切な施工条件

給水圧力 0.05MPa~0.75MPa

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。
- 施工完了後、試験運転を行ない異常が無い事を確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方をお知らせ下さい。

<施工上の注意事項>

注意

- 凍結が予想される地域には使用しないで下さい。凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

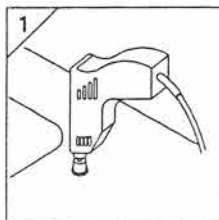
<使用上の注意事項>

注意

- 体調を損なう恐れがあります。水道水の水質基準に適合した水をお使い下さい。
- 水漏れ、水浸し事故の恐れがあります。35℃以上の温水は通さないで下さい。
- 浄水口を塞いだりホースや他の器具を接続しないで下さい。
- 水圧の高い所では元栓を絞ってお使い下さい。
- 高温になった器具や火気の近くではご使用にならないで下さい。(熱によって変形したり、破壊する恐れがあります。)

施工上のご注意

- 取付前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流してください。
- 飲用不可な井戸水は使用しないで下さい。
- 必ず同梱の部品をご使用下さい。(他社類似品を使用しないで下さい。水漏れ、破損等に繋がる恐れがあります。)
- 専用水栓は障害物がなく、レバー操作スペースが確保できる場所に設置して下さい。
- 専用水栓は、水栓本体を支えられる強度のある場所に設置して下さい。

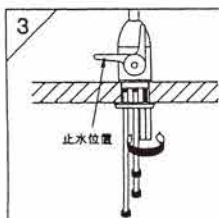


天板に専用水栓取付け用の穴を開けます。取付け位置を確認して、ドリルで穴を開けて下さい。(取付け穴径: 直径3.6mmを基準とし 3.5~3.7mm)

(注) ホーロー、天然石のシンク天板に穴を開ける場合は、キッチンメーカーにご相談ください。



締付ナット、馬蹄金具を外し、専用水栓を穴に差し込みます。馬蹄金具、締付ナットを組み付けます。馬蹄金具、締付ナットの順に組み付けて下さい。

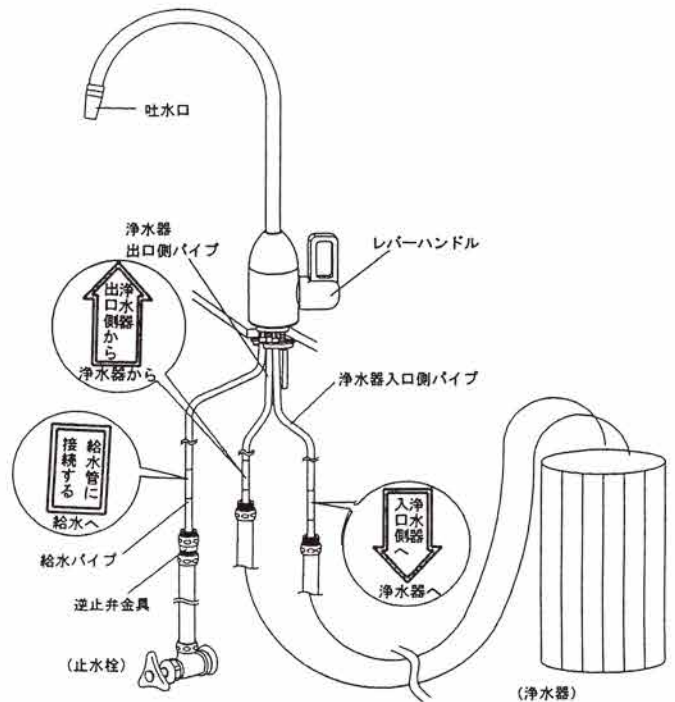


専用水栓を固定します。締付ナットをレンチ等で締め付けて固定して下さい。

(注) 水栓本体を固定する前に取付け穴周囲の汚れを取り除いて下さい。

(注) 専用水栓のレバーハンドルは止水位置にして下さい。

止水栓・浄水器への取り付け方法



① 給水パイプの固定

ホームチューブ等を使用し、給水パイプと止水栓側を接続します。(注) 逆止弁金具は出荷時に本締めしてありますが、施工時、通水前にはレンチを用いて確実に締まっている事を確認して下さい。(締め付けが不完全な場合、水漏れする恐れがあります。)

② 浄水器への取り付け固定

浄水器入口側ホースと入口側パイプ先の接続金具、浄水器出口側ホースと出口側パイプ先の接続金具を取り付けて下さい。(注) 各接続部はレンチを用いて確実に締め付けて下さい。(締め付けが不完全な場合、水漏れする恐れがあります。)

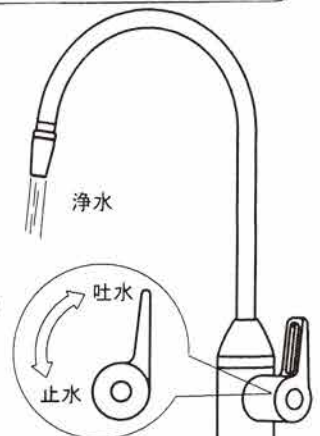
ご使用について

ご使用について

- ハンドルを上に戻すと吐水し、下に戻すと止水します。

(注) 衛生上、浄水吐水口を汚さないで下さい。

(注) 浄水止水後、浄水吐水口からしばらく水滴が落ちますが、浄水カートリッジ内の残留水です。故障ではありません。



お手入れ

- メッキ部分(金属製部分) 柔らかい布で拭き、時にはミシン油やカーワックスを適度に染み込ませた布で拭いて下さい。
- 樹脂部分(プラスチック製部分) 柔らかい布で水拭きをして下さい。

注意

次のものは使用しないで下さい。変色や傷み、漏水につながる恐れがあります。

- 酸性・アルカリ性及び塩素系の洗剤(特に酸性洗剤はメッキを侵します。)
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール等の洗剤や油類
- クレンザー等の粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし等

日本工業規格取得工場 ISO9001・14001認証登録
MIZSEI 株式会社 水生活製作所

T501-2104 岐阜県山県市東深瀬84-2
お客様窓口 品質保証部 TEL 0581-23-4132 受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)